



謎のソニー坊や



ソニー坊やマップ



皆さんは沖縄の道に佇むSONYのキャラクター「ソニー坊や」の像を見たことがあるだろうか。沖縄本島の各地にソニー坊やの像が確認されており、現在は本部町謝花、うるま市安慶名、宜野湾市野嵩、西原町兼久、糸満市名城の5箇所はまだ像が残っている。

ソニー坊やの像はソニー製品の代理店を営んでいた「電波堂」の社長である新川唯介さんが交通安全のために私費で建てたことがわかっているのだが、資料が残っていないためなぜ像を建てるに至ったのか、いつ作られて、いくつあったのかなど詳しい経緯はわかっていないらしい。目撃情報を総合すると確認されているだけでも県内各地には15体以上ソニー坊やの像が建っていたとのことである。

各地のソニー坊やの像は同じように見えてもそれぞれ個性があって面白い。近くにお立ち寄りの際はぜひ。

ソニー坊や以外にもある沖縄の交通安全像



局報「群星」が今年発刊50年の節目を迎えることを記念して、沖縄の日常に潜む地元特有の面白さを発見発信し続けている「DEEokinawa」とのコラボ企画を実施しています。これまであまり気づかなかった、沖縄の面白さについて、楽しく紹介していきますので、ご期待ください。

